

《共通基礎科目 英語科目》

科目名	英語				
担当者氏名	アレックス 林				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択必修	開講年次・開講期	2年・春期

《授業の概要》

小学校、中学校で活用できる内容、実際に教えるためのPracticeを取り入れた広義のKids Englishを指導の柱の一つとする。リスニング、スピーキング等の総合的なPracticeを行うため、授業への積極的な参加が望まれる。英語と日本語の異言語間の発想の違いを発見し、コミュニケーションにおける文化背景、文化の働きに対する理解を深める指導を行う。実際の現場で英語での基礎的な英語授業が行えることを目指す。

《授業の到達目標》

基礎的な英語コミュニケーションがとれる。英語スピーチに慣れる。
授業内で子どもに英語で話し、さらには基礎的な英語を教える資質を作る。
英語の基礎を構築する。

《成績評価の方法》

授業時の発表等の参加姿勢、提出物の内容（課題をどれだけこなしているか）により総合的に評価する。
平常点（毎授業時の課題への取り組み＋発表等）50%、提出物（期末テスト含）50%

《テキスト》

（春・秋共通）：Alex Hayashi 著 「Let's Cross Culture!」朝日カルチャー出版

《参考図書》

和田勝明、山本元子「小学校で英語を教えるあなたへ」明治図書

《授業時間外学習》

・テキストの予習・復習
CDを聞いて、わからない単語は意味や読みを調べておくこと
・プレゼンテーションを実践練習するので、講義終了後、なんども準備、リハーサルをして講義に向かうこと。

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	クラス概要紹介	Class rules and requirements
2	発音クリニック（母音）	Pronunciation Clinic (Vowel Sounds): Unit 1 (Let's Cross Culture!)
3	発音クリニック（子音）	Pronunciation Clinic (Consonant Sounds): Unit 2(Let's Cross Culture!)
4	発音クリニック（実践トレーニング）	Pronunciation Clinic (Practice & Challenge): Unit 3 (Let's Cross Culture!)
5	スピーチ実践（速さ、力強さ）	Speech Practice (Speed, Power): Unit 4 (Let's Cross Culture!)
6	スピーチ実践（オクターブ、抑揚）	Speech Practice (Octave, Intonation): Unit 5 (Let's Cross Culture!)
7	スピーチ実践（息継ぎ、読み）	Speech Practice (Breath, Reading): Unit 6 (Let's Cross Culture!)
8	子ども英語（単語）	Kids' English (1) Words to remember (Home, School): Unit 7
9	子ども英語（基本敵な文章・1）	Kids' English (2) Basic Sentences 1: Part (Lesson 1-2)
10	子ども英語（基本敵な文章・2）	Kids' English (3) Basic Sentences 2: Part (Lesson3-4)
11	子ども英語（基本敵な文章・3ゲーム）	Kids' English (4) Games: Part (Lesson5-6)
12	子ども英語（ティーチング・メソッド）	Kids' English (5) Teaching method: Part (Lesson7-8)
13	基礎的なプレゼンテーション作成	Basic Presentation (Making a draft): Part (Lesson9-10)
14	基礎的なプレゼンテーション発表	Basic Presentation (Practice on the stage): Part (Lesson11-12)
15	テスト、プレゼンテーション	Presentation(Challenge)+Discussion